

大学の世界展開力強化事業（平成27年度採択）事後評価結果

大学名	新潟大学、福島大学
整理番号	T-3
事業名	経験・知恵と先端技術の融合による、防災を意識したレジリエントな農学人材養成

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
<p>コメント</p> <p>本プログラムは、様々な災害が多発する我が国と類似した状況にあるトルコを対象に、新潟大学と福島大学が連携し、農業分野における共通課題である災害リスク等に柔軟に対応し得る経験・知恵と先端技術の融合による防災を意識したレジリエントな農学人材養成を目指して実施したものである。</p> <p>プログラム展開においては、「グローバル農力養成プログラム」及び「グローバル防災・復興プログラム」という二つのプログラムの構造と設置された科目内容が明確であり、運営のための組織体制も確立されている。特に、国際化を軸に両者を関連させ、単位取得可能な新規科目を設定するとともに、福島大学の学生に新潟大学の特別聴講学生の身分を付与する等により、参加学生を確保している点は評価できる。学生交流に関しては、新潟大学が既に形成していたトルコのアンカラ大学との協力体制を基盤として単位互換等の制度整備を進めるとともに、派遣においては、「スピーチ・クリニック」による英語力向上やプレゼンテーション資料作成・発表演習のスキル向上を図り、受入では、受入教員がインターンシップ先を手配することによって日本の労働環境を学ぶなど、全体として着実な成果があがっている。さらに、本プログラムは新潟大学で「GLocal Age 2025」として発展的に受け継がれており、農・食・防災・復興をテーマにして大学全体のグローバル化を推進する本プログラムの成果は、他大学のグローバル化のモデルとしても評価できる。</p> <p>一方で、学生の外国語力の向上及びダブルディグリープログラムの代替となるコチュテルプログラムの締結は今後の課題である。また、諸問題に包括的に対応できるレジリエントなグローバル人材の育成という大きな目標が掲げられているが、一部の学生にとっては異文化接触のレベルの域を超えておらず、専門的な人材育成にまでは至っていないことから、目標達成に向けたプログラムの一層の改善が望まれる。</p> <p>最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的なプログラム展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、さらなるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。</p>	